

令和5年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立畑地小学校

1 自己評価書

教育目標	ふるさとを愛し、一人ひとりが輝く、畑地の子の育成
基本方針	1 一人一人のよさを伸ばし、基礎・基本の定着を図りながら知・体・徳の調和のとれた児童の育成に努める。 2 ふるさとを愛し、ふるさとに貢献しようとするシビックプライドの醸成を目指し、学校運営協議会と連携した地域とともにある学校づくりを推進する。 3 教職員の一人一人のよさを生かし、幅広い研修をとおして、教職員の指導力と学校の組織力を高める。
本年度重点目標	1 確かな学力を育てる教育の推進 2 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 3 学校全体で取り組む生徒指導の充実 4 安全・安心で充実した教育環境の整備 5 特別支援教育の充実と人権・同和教育の推進 6 学校・家庭・地域が連携した特色ある学校づくり

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	B A	A
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B
		ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B B	B
		一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B
④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B	
⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	A B A	A	
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスターウィークチェックカードの効果的な活用により、児童の家庭学習への意識を高めることができた。 ・ファミリー読書週間を、学期に2回程度実施し、家庭と連携しながら、読書活動を進めてきたが、家庭での読書活動の数値が低い。 ・家庭や地域の協力もあり、地域に根ざした教育活動を進めることができた。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eライブラリやEILSの効果的な活用を図り、児童の学習意欲を高めたり、学習内容の理解を促したりすることに努める。 ・学校での読書活動について情報発信し、家庭での読書習慣の充実に努める。 ・教職員自らが積極的に地域に向き、関わることで、子どもたちとの協働的な学びを実践していく。 					

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B A	B
		不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B	B
		いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B	B
③ 基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート	B A B	B	
④ 自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童アンケート ・児童アンケート	B B B	B	
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアンケート、教育相談の充実に努め、「チーム学校」で支援することができた。 ・体験活動を通して、児童一人一人が自分のよさを伸ばし、心の教育の充実に努めることができた。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や地域行事を通して、教師と児童の「協働」及び「共遊」の機会拡充に努める。 ・成功体験を積み重ね、小さな成長でも認め、励まし、自己有用感を育てていく。 					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス 仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革に努めた。</u>	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B B	B
	②	働きやすい環境づくり 新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとらわれることなく取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。 ・教師アンケート	B	B
③	他の教職員のサポート体制の充実 「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。 ・教師アンケート	B	B		
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5類感染症移行後、全ての教育活動を予定通り実施することができた。今年度の反省をもとに、行事の縮小、日程の検討等を進めていく必要がある。 ・温かく働きやすい職場づくりにいての項目が前期の数値より高くなっている。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の教育活動の反省をもとに、行事等の計画的な運営や教職員間のサポート体制を強化していく。 ・普段から無駄な業務は何かを考え、削減できることは削減するという意思だけでなく、「働きがい」を重視して業務にあたる。 					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化 全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 ・教師アンケート	A	A	
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。 ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	A B A		
		情報発信 家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。 ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B B A		-B
③	来校・相談体制 保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。 ・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B B B	B		
<p>(成果と課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員、畑地小応援ボランティアの方が、行事等で協力していただき、学校運営の活性化につなげることができた。 ・地域コーディネーターを活用し、学校と地域の連携が密になっている。 <p>(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を有効に活用できているので、年間指導計画等に人材名を入れて、来年度につなげていきたい。 ・今後も、各種通信やホームページの公開を継続して積極的に行っていく。 					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満